



自立 共生 そして 挑戦

# 明日をめざして22号

発行者：学校長 山崎 裕之

電話：045(802)8797

令和4年度 3月16日(水)

## 1年間温かく見守っていただきありがとうございました。

3月9日の卒業証書授与式は、学校運営協議会ならびに学区小学校の校長先生にご列席いただき、厳かな中にも温かい気持ちがいっしょに過ごす素敵な時間となりました。感染症対策のため座席を指定したり、換気のために窓を開けたりすることによって昨年同様、多少の煩わしさや寒い思いをさせていただきましたが、皆様のご協力により安全に終わることができました。本当にありがとうございました。

「卒業証書授与」は、校長の最も大切な仕事の一つであり、かなりの緊張感を伴うものですが、心の中でおめでとうと祝福しながら無事渡し終わることができました。

また、式辞では、困難に出会っても何ができるかを考えて前に進んでほしいという話と、たった一つの命を大切にするために、困ったら人を頼り元気になったら誰かの役に立つといったバランスをもった生き方をしましょうという話をしました。混沌とした先の読めない今の世の中ですが、何かをあきらめるような年ではありません。未来を信じ夢をもち続けて努力することがかっこいいと私は思っています。



今年度も残りわずかとなりました。新型コロナウイルスは依然として形を変えながら私たちの生活に入り込み、なかなか出て行ってはくれません。来年度も様々な対策を講じながらの学校運営になるでしょう。しかし、負けてなんかられません！もうすぐ桜も咲き始め、新入生もやってきます。1年間を振り返りながらまとめをし、次年度に向けてしっかり準備をしたいと思えます。皆様、応援ありがとうございました。これからも頑張ります！！



## がんばろう泉が丘

### 「川の流れるように」

かの有名は演歌のタイトルではありません

川は峻険な山間から流れ始めます。ある荒天の日に、落雷によって岩肌からはがれた岩石が川に落ち、水量を増した激しい流れに乗り、川を下り始めます。曲がりくねった川の流れの中で、岩石は転がりながら、岩石どうしでぶつかり、砕けて小さくなっていきます。

それから幾星霜、長い年月を経て、岩石は石となり、互いにぶつかり合ってゴツゴツした角が欠けていきます。中流域にたどり着く頃には、石はすっかり丸みを帯びて、中には宝石のように美しく光を放つものもあります。

人も石と同じようなもの。長い年月、紆余曲折の中で、人間どうしのかかわりの中で、互いに衝突したり、肩を貸したりしながら、内面的な「角(かど)」を落として、丸みを持つようになります。河口を人生の終着点に例えるなら、中流域は40歳代でしょうか。個人差はあるでしょうが、その頃には宝石のように、人に感動を与えたり、勇気を持たせたりできるようにもなるのでしょうか。辛いことも多いでしょうが、その日が来ることを信じて頑張っていきたいものです。校長先生がいつも話されているように、疲れたら一休み、辛ければ誰かの肩を借りましょう。そして元気になったら、困っている誰かの力になってあげましょう。

保護者の皆さま、1年間本校の教育活動に、ご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願い致します。



# 学年から

## 1学年

4階の教室で緊張しながら入学式の入場を待った、あの日から1年が過ぎようとしています。制約がある中でしたが、学校行事だけでなく校内のどの活動に対しても仲間と協力して取り組むことができました。班、学級、学年の「仲間」と望ましい関係が築けたこと、一人ひとりが過ごしやすい「空間」を作ることをご心掛けられたからこそです。一方で、「時間」を守って自分でやるべきことを考えて行動することについては、今後も緑学年の課題です。来年度は上級生になり、もう一段高い目標を掲げて、お互いを高め合える2年生を目指します。

## 2学年

この1年間を振り返って、中学校における「心臓」である2学年は、いろいろな意味でとても成長できたと感じています。鎌倉校外学習・体育祭、そして出前職業体験などの行事を通して、自主性や協力すること、コミュニケーションの大切さ、働くことの意義や大変さなどを学ぶことができました。いよいよ4月からは3年生に進級します。それぞれの進路へ向けての準備が本格的に始まります。安易な方向に妥協するのではなく、自分に厳しくときには追い込むことも必要になってきます。”最高学年＝泉中の「顔」として、恥ずかしくない行動をとり、下級生の模範になってもらいたいと思っています。

## 3学年

3月9日、3年生は無事に卒業式を終え、泉が丘中学校を巣立っていきました。公立入試後から3年生は卒業に向けて特別時間割が組まれました。内容は卒業式・卒業合唱の練習、遠足、球技大会、大掃除などです。3年間の集大成として迎えたこの特別時間割を3年生は立派に、そして穏やかに温かな雰囲気の中で過ごすことができました。新型コロナの影響でさまざまな教育活動が制限されましたが、そこから得たものも多く、笑顔で卒業していく姿に心を打たれました。皆様のこれまでのご支援に感謝いたします。

## 個別支援

2月中旬から3年生は特別日課に入り、卒業式の練習や卒業遠足、球技大会、学年送別会と、交流級の人たちと楽しい時間を過ごすことができました。卒業式では、全員が立派に巣立っていく姿に胸が熱くなりました。6組では1年から3年まで一緒に活動しているので、1・2年生の8名では広すぎる教室で寂しいですが、「3年生の分まで頑張るぞ!」と張り切っています。4月には新入生が来ます。立派な先輩になれるよう準備をしていきます。

# 今月の記事

## たくさんの人に見守られながら、 3年生が卒業しました。

温かな風と共に春が近づく中、3年生が泉が丘中学校を旅立ちました。コロナウイルス感染拡大の影響で、思ったように活動ができないことも多くあった3年間でしたが、最後には保護者や教員に見守られながら、晴れやかな表情で卒業を迎えることができました。

卒業式を間近に控える3月4日には、生徒会の在校生が企画・運営を行った「3年生を送る会」が開かれました。そこでは学級・委員会・部活動それぞれから3年生へメッセージが届けられ、当日の会場は3年生の笑顔と笑い声で溢れていました。3年生から在校生へのお返しのメッセージもあり、コロナ禍で交流が少ない中でも、学年を超えた絆を確かに感じた1時間でした。

3年生、今まで泉が丘中学校を引っ張ってくれてありがとう！！



## 今後のお知らせ

- 3月24日（木）大掃除
- 25日（金）終了式・離任式（標準服）
- 26日（土）～ 学年末休業
- 26日（土）新入生体操着等受け取り

- 4月 7日（木）令和4年度前期始業式  
令和4年度入学式（13：30～）
- 8日（金）昼食開始

入学式の準備をする生徒は、  
昼食が必要です。  
お子様にご確認ください。



学校給食を  
注文される方は  
お忘れなく！



## 専任の部屋

# 靡不有初、鮮克有終

「靡不有初、鮮克有終」の書き下し文は、「初め有らざるなし 克く終わり有る鮮し」となります。“始めただけで途中で投げ出したりせず、最後まできちんと成し遂げることが大切だ。”ということです。

4月から新しい学年に進級します。今年度の活動で得たことを生かして、自分の得意なところは一層伸ばしつつ、自分の苦手なところは、あきらめないで少しずつ自分のものにしてほしいと思います。

最後に、いつも学校を支えていただいている地域住民の方々、関係機関の皆様にお礼を申し上げます。来年度もご支援、ご協力お願いいたします。



## 公園利用のルールをもう一度確認してみましょう！



今年度も、地域の方から公園利用のマナーについてのご願いが数回ありました。横浜市では、公園内で野球やサッカーなどをゲーム形式で行うことは禁止されています。他の人に危険があるような使い方や、十数人で試合をして広い範囲を占有し他の人が利用できない使い方は認められません。また、ボールが公園の近隣の方の敷地内に飛び込まないような配慮も必要です。詳しくは、下のアドレスで横浜市の公園の利用についてのルールをみてください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/qa/>

みんなが笑顔で安心して、公園を利用できるように、ルールを守りましょう！



## 保健室

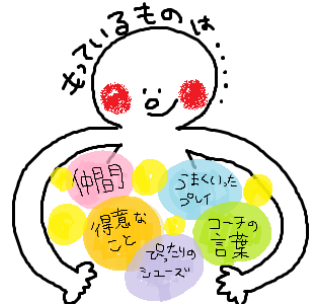
# 言葉の力は すごい...?!



先日、こんな研修を受けました！

例えば「遅刻をしないように！」と言われると「遅刻している自分」が頭に浮かび、遅刻をしてしまうそうです。つまり「遅刻」という言葉を使わずに同じことを言い換えれば良いイメージが頭に浮かび、その通りの行動に結びつきやすくなるのです。この場合は「時間に間に合うように！」と伝えれば良い結果につながるようになるそうです。

これは大切な試合や試験の前に自分で使うこともできます！  
「練習ができていないけどがんばる！」ではなく「今、自分がもっている力をだしてがんばる！」と考えると脳が“今、もっている力”を考えてうまくいくことが多いそうです。実際、試合や試験の前ってどれだけ練習や準備をしても不安ですよね。そんな時こそ、自分がやってきたことを考え、自分の背中をおす前向きな言葉を考えると良いそうです♪



いよいよ2021年度も終わります。感染症に振り回された1年でしたが、本校の保健活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。感謝申し上げます。

## 編集後記

春は「別れと出会いの季節」と言われています。大好きな人や環境との別れに、気持ちが沈むときもありますが、今までの思い出は消えません。新たな出会いを信じて、明るく前向きな気持ちで4月を迎えたいですね。1年間、ありがとうございました！

学校HPのQRコード

